

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
1	<p>妻木金田線の開通について、何度もタウンミーティングや、市役所の道路課の方に伺っていたんですけど、進めてますということだけで。幼稚園とか他の保育園とかこども園も増えて、スクールバスもたくさん増えてるのを見て、この細道を通って行って、何が持続可能都市だ、スマートシティだと、一部だけで結局全体にはなっていて、まして計画道路としても20年前からなってるものを、つくば市として、市民の声が上がってるにもかかわらず、動いてますだけじゃなくって、いつやるか、いつまでにやるか、その間をやってくれるのがつくば市としての役目であり、責務があると思います。そこを今回聞きたくて参加しました。</p>	<p>市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)</p> <p>去年お答えをしたのは、今まで何十年もずーっと動いてこなかったこの問題、担当課が汗を流して、説明会を地域で3回やらせていただくと。今までほっとらかしだったわけですから、本当にそこに行くまでも大変ないろんなことがあったというのは割愛しますが、ぜひご理解をいただきたいと思います。その上で、そこで地域の皆さんから言われたのは、この先は説明会というよりは、どんどん個別に地主さんと交渉をしていって欲しいということの説明会でもお話をいただいたので、今担当が少しずつ話をしていってるんですね。もちろんいろんな相談をしながら、非常に繊細な問題なので。そうは言っても地域の皆さんにも正しく情報をお伝えをする必要があるのです。今、妻木金田線についてのご案内のパンフレットを最終校正中なんです。ここにQ&Aとか、そもそもどういう計画ですとか、こういうQ&Aで、結構細かいところまで、やっぱり皆さんいろんなご心配をされてるので、今まで職員が地域を回っている中で、なぜ皆さんがなかなか賛成できないかというご不安をいろいろ聞いてきましたので、それに対してご説明をする資料を、いわゆるよくある質問という形で作って、ご不安を解消していくというパンフレットで、もうちょっと調整をしていくんですけども。例えばあるところで聞いた内容で、反対してる方の大きな理由として、もし道路が通ってしまったら、今は調整区域という固定資産税が比較的安いところなんですけど、通ったら市街化になっちゃうんでしょと。そしたら固定資産税が上がって、家がつぶれてしまうといったご心配をされてる方がいらっしゃるってことで、そういうことは全くないんですね。ですので、そういうご不安を正しい情報で解消をしていくために、これを持ってこれから職員がもう地域を一生懸命歩いていくというプロセスになります。もちろん皆さんからしたら、もっと早くしろよというお気持ちはよくわかるんですけど、多分やれる範囲では、かなり最速とは言わないですけども、やれるだけのことをやっていて、何しろボタンをかけ違ってしまうと、もうそこで例えば全部止まっちゃったりしたら、それっきりになってしまいます。そういうことも含めて、こういうものも用意しながら、頑張ってますので。お声を上げていただくのはすごくありがたいことですし、地域の皆さんにも、タウンミーティングでもこういうお声たくさんいただいていますということをお伝えをしながら、でも地域の皆さん、地権者の皆さんのご不安にはちゃんと解消を、ほとんどのものは解消できる問題ですので、それを丁寧に進めていくという段取りでいるので、来年もタウンミーティングをやりませんが、そこでは、今こういう状況ですとか、そういうことを何とか報告できるようにしたいと思っています。一方で、私がじゃあ何年にやりますっていうと、やっぱり地権者の方からすると、合意もしてないのに勝手に市長が合意をしたことにされちゃ困るというお声もたくさんありますので。もちろん都市計画決定しているものですのでそれをどう事</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
		<p>業化していくというのを一番良い形で進めていけるように、体制も、道路の整備のための室というのを作って進めていて、これを課にするかどうかという話も含めてしてるんですが、そういうふうに取り組んでいますので、お叱りの気持ちはよくわかりますけれども、職員も一生懸命やって進めていますし、私もいろんな情報を地域で取りながら進めていますので、ぜひ応援をいただければと思います。</p>
2	<p>つくば市に下館出身の木版画家、飯野農夫也保存会というのがありまして、多くの版画が保存されています。筑波山のもとで暮らし働く人々が生き生きと描かれており、これらの木版画を多くの人に見ていただきたいと願っています。つくば市として、飯野農夫也の木版画の常設の場所を何か作っていただくことはできませんでしょうか。廃校とかいろいろ考えられるかと思います。木版画という文化を通じて、つくばを多くの人に知っていただく機会にもなり、またつくば市のまちおこしにも繋がるんじゃないかというふうに思っていますので、ひとつよろしく願いいたします。</p> <p>ぜひ筑波山のPRも兼ねて、何とかしていただきたいなと思っています。</p>	<p>飯野農夫也さんの版画、私ももちろん何度も見させていただきたくせけれども、常設となると、なかなかハードルは高いんですが、いろいろな機会を通じて、有志の皆さんが実行委員という形でいろんな展示会をやられていますので、そういう際などは、場所の提供など、行政としてはできるだけサポートしていきたいと思っております。ちょっと常設について今お約束できるかという、ごめんなさいなかなか難しいというのが本音ではありますが、ただ私もそのすばらしさは実際に見て感じていますので、いろんな場面で頭に入れておきたいと思っています。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
3	<p>快適なインフラというのを公約で上げていますが、その中に道路整備っていうのがあります。ところが、対向車が来たらよける場所もない、先日も、カーブした1車線道路に行ったら、対向車がきちゃって、幸いに相手の方が120メートルぐらい下がってくれました。これは市役所の道路整備課に言っても、道路整備大綱すら作ってない。田舎に行けば行くほど車なしでは動けないのに、何で利用できないような道路をほったらかしにしてるのかと。建設部長に道路整備大綱をつくれと、向こう何年間でこういう道路はなくすとやってくださいと。それから、直線の場合は、相手が入ってきたなと思えば待っていますが、途中まで進んだ場合に、何百メートルおきぐらいに袋を作って、そこを利用できるようにしたらどうかと。それを他人の畑に入るもんだから、地主さんは大きい石を持ってきて並べたり、杭を打ったりして防御してるんですよ。それから、土地改良等で道路や側溝を作ってるけれど、事業が終わるとそこで終わってしまう。そこから、1キロ未満ぐらいの距離を市が整備すれば、県道とか市の広い道路に繋がるのに、何でそれができないか。対策講じてください。</p>	<p>市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)</p> <p>ご不便をおかけして申し訳ないです。道路の整備というのは、間違いなく課題です。道路には優先順位をつけて、整理をつけていかないと考えているので、今もご紹介した妻木金田線の話ですけれども、関連して、市内のどこの道路をまず優先して整備をしなくてはいけないかというのを、全部調査をかけて、プログラムを作って、妻木金田線はそれに位置付けて、今力を入れて取り組んでいるところなんですけど、今お話をいただいたようなそういう部分でない地域の道路については、どういう時に拡幅するかとか、全部優先順位をつけてるんですね。例えばそこが通学路になっているかとか、地域の皆さんの同意が全部取れているかとか、全部リストを作ってありまして、その点数を足し合わせて、整備を進めていくということにしてるんですね。今まではどこを整備するかっていう基準が、なかったもので、基準がないと、結局地域の有力者の方とかからお話をいただくと、担当としても、あんまりこ通らないんだけどなみたいなのところも、整備をしなくちゃいけない。結果として、もっと優先すべき道があるのに、その整備ができないというようなことになってしまっていたので、今は基準に基づいて整備をさせていただいてます。ただ、今お話をいただいた場所、すれ違えない場所については、具体的に帰り際にお話をいただければ、そこについて現状を確認して、今どういう危険度なのかとか、子供はどれぐらいそこを通過しているのかとか、通行量どれぐらいなのかといったようなチェック等はさせていただきたいと思っています。そうやって一つ一つ、皆さんがお困りの箇所があれば、例えば今のように袋たまりを作ってすれ違えるようにするなんていうことも、ひょっとしたらオプションとしてあるかもしれませんので、個別に帰り際お伺いしたいと思います。ちゃんと現地に確認に行かせて、どういうことだったら応急的に可能かというのは考えたいと思います。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
4	<p>自治会の高齢化が非常に進んでいて、今までやっていた自治会区会活動がなかなか班長さんできなくなってきた部分があります。そういう中で、自治会のいろんな日常の活動で、議事録作ったり、資料作ったり、いろんな仕事があるわけですけど、こういうものを例えば労働者協同組合を設立して、そういう会の活動の一部を受託するようなことを少し検討を始めています。今年、労働者協同組合の設立支援事業として456万円がついたということで、この事業ではどういう支援をしていただけるのか、お聞きしたいです。</p>	<p>労働者協同組合というのは、皆さんにもご説明すると、去年の10月に新しい法律が施行されました、労働者協同組合法という法律なんですけれども。全会一致で3年前に法律が成立して、施行されたのが去年の10月という。今回労働者協同組合法ができたことによって、労働者協同組合という法人をつくれるようになりました。3人以上の人が出資をすれば、立ち上げることができる。で、みんなで話し合っって物事を進めていきたいと思います。去年は世界最大の労働者協同組合と言われているスペインのモンドラゴンという協同組合だったり、或いはイタリアの協同組合を見てきました。ここでいろいろ地域の取り組みが労働者協同組合で行われてるのをよく学んできましたので、今回予算として用意させていただきました。ただいきなりばんばん動いていくことは多分ないと思います。まずは、この取り組みを知っていただきたいと思っておりますので、それぞれの専門家を呼んできて、市内の区会の方とか、NPOの方とか、いろんな方に労働者協同組合の勉強の機会を提供します。あわせて、今のお話のように、組合を立ち上げたいという相談に対して、なかなか市の職員もまだわかってないので、専門家が立ち上げのアドバイスをしたり、或いは当然労働者協同組合事業を行いますので、事業計画について、区会からとお話ありましたけれども、すぐ選択肢あると思いますが、こういう形ならうまくいくかもしれないし、こういう計画だとちょっと難しいかもねなんていう、実際の立ち上げのアドバイスも、相談会というような形でやるという事業を考えているところです。おそらく秋口ぐらいには勉強会であったり、個別の相談会というものを始めていけると思っています。これからも市報や区会回覧等でご案内していきますので、ぜひご活用いただければと思っています。まさに、私も区会のいろんな業務を少し切り出していく可能性って結構あるんじゃないかななんて思っているところ。ご活用ください。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
5	<p>温暖化の政策について、その地域政策編の方は0.7%しか削減しない計画です。50万トン100万トン減らさなきゃいけないところが、1万3,000トンしか減らない、そういう計画なんです。これはひどいと思いました。要するに全部で200万トンなんだけど、数字を1万3,000トンしか減らさないっていうことは、0.7なので計算してください。そういう状況で、二つ問題があって、一つは予算です。将来世代への予算として、例えば学校教育は200億円以上ついてますけれども、地球温暖化は3,000万程度です。1億円弱ついてますがそのうち半分以上固定費等で3,000万円ぐらいしかついてない。もう一つは、専門家とどれぐらい連携が取れてるか。市の方は別に研究者ではないので、研究者とよく連携とらなきゃいけないんだけど、そういう0.7%しか削減できないような研究者と今やってると思うんです。もっと幅広い環境のプロとしっかり連携とらなきゃいけないんじゃないか、そういう人が今欠けてるんじゃないかという点を、指摘させていただきたい。</p>	<p>ちょっとごめんなさい計算式がわからないんですが、市としては、2030年に46%を達成するという計画で全体としては進めていますので、今のご発言については、確認をしなくちゃいけないなどは思っています。それに合わせて、今回気候市民会議という形で、市民の皆さんにどういうアクションをとってもらおうかということ、対話で考える機会を作っています。合わせて、つくばのいろんな課題として例えば研究機関による排出が非常に大きいというのがあって、研究機関の皆さんともいろんな話をしています。でも、研究機関の場合は、そこでの研究が世界の地球温暖化の削減緩和に貢献をするという意味もありますので、どういうふうにそれを解釈したらいいか非常に難しいところもある。実はその研究者の皆さんとは、いろんな形で対話の機会というのはかなり持たせてもらっています。環境研や産総研、筑波大の専門家の皆さんはこういう他の自治体のアドバイザーなんかもやっているため、こういう施策をやることは有効だけどこういうのは実はあんまり意味ないよねとか意見交換しています。あるいは今度桜に給食センターを作りますけれども、ここでもどういう形で持続可能な施設にするかというのを、建築研究所の専門家にアドバイスをもらいにいったりとかですね、いろんな形で専門家の知見を生かして、建物自体の排出量を減らしていく取り組みなどは行ってはいますが、そういうことを含めて、2030年の46%という数字を実現するために、市の計画ではそこは目指しているということはお伝えをしたいと思います。今の計算式は後でよろしければ教えてください。取り組んでいきますし、この気候市民会議で出た施策については、しっかりと予算付けをしていこうと考えています。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
6	<p>2020年の4月につくば市地球温暖化対策実行計画概要版というのをいただきました。タイトルは実行計画って書いてあんですけど中見たら計画は何も書いてないんですね。概要でも、何年までに何をどれくらいするとか、普通計画って言ったら、いつまでに何をするとかいうのを書くのが計画です。COP27が去年あって、その資料がたくさんあるんですが、見たんですけどほとんどよくわかんないんですね。幸いなことにNHKの時事公論という番組で解説をしてまして、その中で先ほどお話があった2010年と比べて、2030年までには、世界全体で温室効果ガスの排出量を45%減らす必要があるという。だから世界の明日が見えるまちつくばは、45%以上減らせるという具体的な計画が必要だと思います。それを目指してるとかじゃなくて、こういうふうにとやると、45%どころか、50%60%までいきますと。この辺については、多分ヨーロッパのいくつかの国でもうすでにそういう計画出してると思うので、そういうのを参考にするのも一つの方法だと思います。先ほど言われていた研究者との連携というのも必要だと思いますが、実際やってるところを参考にすると。</p> <p>また、気候市民会議は、気候変動について知識も時間もない市民50人集めて、井戸端会議やって何かが出てくるというふう考えるのは、ちょっと五十嵐さんらしくないと思います。五十嵐さんが市長になってすぐに、市の中心でみんな集めて、つくば市はこれからこういうふうになるんだという説明をしていただきました。その中で、SDGsって初めて知ったんです。そういうことも考えている市長だから、今気候変動に対して、たまたま今ちょっとあれだけ、これからは良くなると信じてます。</p>	<p>市の計画も、ご覧になったものには書いてないかもしれませんが、事業の積み上げでどの部分をどれくらい減らすことが必要かみたいなこととかはやっていて、ただお話あったように、実は私もそこそ研究機関のいろいろな関連する方と話した際に、そもそも30年の46%っていうのは、皆さん専門家から見て、どういうふうに捉えてるんですかみたいなこと言ったら、我々はもうやれると言うしかないからやるんだ、みたいな話をいただいて、じゃあもうぜひ一緒にアドバイスお願いしますということで、今本当にその連携を深めていってるところです。具体的に、本当に個別に市民がまずこういうことをやろうとか、こんな取り組みをしようとか、例えばサステナの自己託送なんかを進めることとか、いろいろな取り組みは市としては進めていますが、今日ちょっとお話を聞いてわかったのは、区域施策編を読まれたのか事務事業編を読まれたのかわかりませんが、市の取り組みがわかりにくく、市がちゃんと46%に向け本気でやるということがあまり伝わってないんだなということで、すごく反省をしていますので、その出し方も含めて作っていかうと思います。合わせて、今、それをやっていくために、中心市街地を中心に、環境省のモデル事業というのも手を上げていまして、1回目はもうとにかく、どうせ厳しいけどとにかく出ささいと言われて出して、先日こういうところを改善して欲しいってことで返ってきたんですが、そういうものも含めて、本気でやりたいと思ってますので、今ちょっと残念なお気持ちなのは申し訳ないですけども。市としては本気で進めたいと思ってます。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
7	<p>さくら運動公園内のテニスコートの件で、今あるのはクレイコートが3面とハードコートが4面で、私たちのグループで週2回クレイコート使わせていただいているんですけども、前日に雨が降ると全く使えないんですね。これを洞峰公園みたいなオムニコートみたいな形に改良していただければと思ひまして、お願いにきました。</p>	<p>市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)</p> <p>公園の施設整備も、例えばテニスコートがその象徴なんですけど、順次改修計画を全部作って、前倒ししようという話を庁内ではしています。特にテニスコート、本当に路面がガタガタになっているところもあったりするので、そういうのを順次やっていくんですが、その中で桜のクレイコートがどうだったかは確認します。私もちょっとだけテニスやるので、あそこでやったこともありますけども、もう少しいい環境にもできるんじゃないかと思ひてます。ただ、テニスコートはかなりコストもかかるので、そこを見極めながら。各地区の公園の環境というのは、特に来年度予算しっかりと見ていこうという指示は全部出してありますので、お話いただいたことを受けとめて、何ができるか、ちょっとお約束まではできないんですけど、まず検討させます。</p>
8	<p>つくば市市民ボランティアの活動を、5名から初めて今50人くらいに広がっています。いずれのところでも、ボランティア活動の継承、若い人たちへの継承問題と、経済的な部分、活動する場などの問題があります。私たちはNPO法人化して、さらに認定を目指して、今の時代100%ボランティアっていうのはなかなかできないので、ある程度人件費的などところとかもできるような仕組みとか、教育的、先端的なNPO法人のところに行って勉強するとかってというような仕組みを作っていくと、実は市のそういう担当のところにも相談会行ったんですけど、つくば市にはNPO法人って最近全然できてないからわかんないんだよって言われました。</p> <p>自分達で勉強してやりますけど、すごく人的資産がつくばはあると思うんですよ。いろんな研究者の人とか、農業を頑張ってる人とか、最近若い人も実施されるから、昔はサイエンスシティかもしれないけど、これからはみんなで創るまちみたいな感じにしていくと、ボランティアだけ今風の活動で楽しみながら、みんなイベントだけじゃなくてやっていけるような仕組みを、さっきの労働組合の話もあったので、NPO法人化していくとか組織化ができるところのチューターとか、バディ制度っていうのがないと、みんな持ち出しでやってるので、それは今風じゃないし負担が大きいので、何か仕組みを作ってほしいと思ひました。</p>	<p>すみません、そういう発言は良くないですよ。市の担当職員も、支援団体に来てもらって勉強したりして、支援団体が相談会をやってるのを隣で聞いて、一生懸命今勉強中のはずではあるんですけども、申し訳ありません。おっしゃるように、市民活動でいろいろされてる方もいらっしゃるの、皆さんの活動がしやすくなるように、その拠点をまずセンター広場に作り、市民活動がいろんな形でできるようにします。今の市民活動センターって本当狭いところで、しっかりと力を入れるためにこれを作りますので、そこでいろんな講座をやったり、それこそお仲間をそこで見つけたり、或いはNPO同士或いは団体同士の悩みとかをお互いに共有したりみたいな、今、バディとおっしゃいましたけどそういうことは、ここでかなりできるんじゃないかと。来年の2月にオープン予定でございます。一生懸命今工事を、意匠を大事にしながら守りながらやってもらってるので、どんどんお使いいただきたいと思ひます。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
9	<p>つくタクの件で細かい話ですが、今まではバスとか、元気だったので使ってなかったんですが、最近つくタク予約しようと思ったんですが、いつもいっぱいなんですね。しかも、私の家まで来てもらおうと思って話したら、1000円余分に登録費を出してくれてと言われて。ところが、最近1回も使ってませんので、例えばタクシーじゃなく、もうちょっと人数が多いときには、マイクロバスとか、何かそういう工夫をしてもらえたら。私は80になりましたので、ちょっとバスの乗り場まで遠いし、すいませんがそういう細かいことで、お願いします。</p>	<p>つくタクが予約が取れない問題というのは、すごい課題だと思っていて、いろいろ今、例えばルートを最適化するのにAIを入れたり、それこそ前からやったりしてるんですね。ただそれでも予約が取れなくて、なんで取れないかっていうのをちゃんと分析をさせたら、1人の方が先々までちょっとたくさん取り過ぎてるっていうケースがありましたので、今年のおそらく10月からかな、1人が1回に予約できる回数を少し減らすことにしました。1回に4つの予約しかできないと。往復でいうと2回。かなり入れられてる方がいらっちゃって、そういう方が使えばいいんですけど使わないケースもあったりしたようなので、それをもうできなくするというのを今度やりますので、多分いくらか使いやすくなるというふうに思っていますので、ちょっとそれで様子を見ていただきながら、市でも注視していきたいと思います。あとは、よろしければ(電動アシスト)自転車も、まあまあ安定して転ばない自転車、結構便利なのでお使いください。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
10	<p>昨年8月、この場で、そこ(桜)に作ろうとしてたスケートパークについて3点懸念をお伝えしたんですが、一つ目はBMXなどスケートボード以外の競技を排除しようとしてるんじゃないかという懸念をお伝えしました。それに対して市長覚えてらっしゃるか分からないんですが、BMXやっちゃ駄目ということにはしてないと思うんですよっておっしゃってたんです。後日市の担当課にも経験者として呼ばれて、何時間も私、仕事をつぶしてやりとりしてたんです。その時もBMX排除するなんて話は一切なかったんですね。ところが、いつの間にか、その担当職員達は忙しいを理由に音信不通になって、今年4月で開業しました。そして、この施設はスケートボード専用施設です。インラインスケートBMXなどの使用は禁止しますと、掲示してるわけですよ。これは梯子外しですよ、嘘つきですよ。多様性だとか、自転車盛り上げようだのって市は言ってますけどありえないです。先ほど横浜から来たスケーターが楽しんでるなんて話してましたが、近所で税金払ってる我々、BMXライダー、マウンテンバイクライダー、インラインスケーターは、排除されて入れもしないんですよ。即刻すべての競技に開放するように指示してほしいんです。アパルトヘイトじゃあるまいし、差別的な、スケートボードパークって名称はやめて、ちゃんとなんかエクストリームスポーツパークだとか、アクションスポーツパークだとかっていうそういう一般的な名称にね、改めて欲しいんです。</p> <p>二つ目、コンクリートで固めると配置替えができないって去年言ったんです。そして見事1ミリも動かせないカッチカチの失敗施設ができちゃってるわけです。オリンピック設計した人が関与してたか何だかわかんないですけど、市民には、小さな文字で広報紙でちょっと知らせるだけで密室で物事を決めてるんですよ。これ前市長時代で変わってないですよ。補助金と公約を間に合わせるために多分強引に物事を進めたんですけど、こういうやり方はもういい加減やめにしましょうよって。そもそも都合よくオリンピックって持ち出してますけど、東京大会から始まったのって、スケートボードだけじゃなくてBMXパークもそうなんですよ。なのに特定競技以外排除するとかってというのは、公共施設は絶対こういうのはやめて欲しいんです。幼児の施設の隣に飲酒喫煙当たり前のスケーターたちが集まってくるのは本当にいいのかって言いました。で、予定通りそういう連中が集まってきましたよ、昨日もガーガーその駐車場、スケートボードで移動してますよみんな。騒音立てて、下の公園でも遊ぶようになりました。だから私、下の公園で子供よく遊ばせるんですよ、幼児。もうちょっと安心して車を止められないんで。今後はちょっとやめようかなと思ってるぐらいですよ。皆さんも車に板ぶつけられるかもしれないですけど、それ覚悟してここ止めた方</p>	<p>市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)</p> <p>去年いただいたお話の中で、いろいろ御意見いただきましたが、今の、スケートボーダーが様々な面ではよろしくないという点に関しては、私はその発言は、タウンミーティングにはふさわしくないと思っておりますので、そこについてはちょっと許容はできないということはお伝えした上で、まず今回スタートの時点では、BMXについては、いろいろまずそのスケートボードを使う中での関係等も考えさせていただきました。それはもちろん様々なご意見があったし、いろんなスポーツをやられた方もいらっしゃいますけども、すべての競技を完全に一つの施設ですべて満たすということでもなくとも、例えばBMXはフリースタイルではないんですけども、レーシングの方をしっかりと筑波東中の方に整備をさせていただきました。逆に言えばじゃあなんで他の自転車のコース、グラベル作らないんだとか、そういうことも出てくると思うんです。今回のスケートボードパークですべて終わりではないですし、いろいろな競技がどういう形で少しずつ育てていけるかということも含めて、考えなくてはいけないと思っておりますので、そこについては、今の時点では一旦スケートボードのみにさせていただきますし、それはもちろん担当と運用しながら話していこうということは、当然協議はしていますけれども、全体として考えて運用をしていくというふうに思っています。</p> <p>ヘルメットについては、義務化という議論ももちろんをしていますけれども、まずは小学生には必ずつけてもらわなくちゃいけないと思っております。スケートボードの協会の方とかいろんな方とお話をして、一旦こういう形で運用をしていけるけれども、もちろん今後のことを考えたりいろんなことを見て、義務化となれば、それはそういう判断をしようということをしてますので、今のところは、もちろん強く推奨はしていますし、基本的にはつけていただきたいとお願いはしていますけれども、その状況で今見ているということです。</p> <p>自転車も一生懸命案内をしていますし、啓発イベントなどもしています。ただ救急利用ってというのは、全国民お互いさまということもあると思えます。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
<p>がいいですよ。で、市のウェブサイトには「被ろうヘルメット」とかって書いてるんですよ。ママチャリより遥かに危ないことしてるのに、小学生以上はヘルメットをかぶらなくていいって書いてるんです。私こうやって今しゃべってられるのは、現役時代、ヘルメットちゃんとかぶって乗ってたから、頭何針も縫って死にかけましたけど、それでも生きてたんですよ。コンクリートで作ったパークっていうのは一番危ないって市の担当職員にも言ってたんですが、それでもヘルメット着用義務つけなかったわけですよ。これ、ヘルメット着用義務なしで市長が容認したってことで、事故が起きた時に市長は責任取れる覚悟でいるっていうことで、よろしいですか。</p> <p>私も20、30年前からこの手のスポーツ関わってますけど、たくさんみんな救急車で運ばれてったんですよ。それみんな各自治体の負担ですよ。今も横浜から来た、東京から来たとかって話してましたけど、彼らが頭打って、連れてかれたら、つくば市の負担で救急車出さなくちゃいけない。これみんな納得できますか。ヘルメットを義務化すれば、防げる事故ってたくさんあるんですよ。</p> <p>BMXとフリースタイルレースは全く違う。これはちゃんとわかって欲しい。BMXの施設レース施設を幾ら使ったってフリースタイルの人たちには全く何の関係もありません。</p>	

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
11	<p>うちは8050問題といいますが、2人もいるんですね。だから、そういうのは大体つくば市で何%ぐらいいるか、どれぐらいいるかという質問が一つと、こういった対策をこれからも取り組んでくださるかっていうことも一つと、それともう一つの課題として、今子供、非常に教育入れていますけど、ChatGTPに言われるように、新未来がきちちゃって、もうみんなかなり失業すると。こういった場合に、今までの働きかたと、またこう違ってくるといことは、8050問題をちゃんと見つめていると、その時のいいヒントになるんじゃないかと思ひまして。</p>	<p>8050の状況にあるご家庭がどれぐらいいるかというのは、おそらく市としてその正確な数字は把握はしていません。独居高齢者の数であるとか、高齢者世帯の数であるとか、そういうものに基づいてやっていますが、ちょっと宿題としてしっかりいただいて。ただ、今市として取り組みを進めているのは、地域包括支援センターというのを全地区に作って、様々な介護の問題であったり、ケアの問題というのを、少しでも気軽に相談をしていただけるような環境を作っていて、その中で、その地域の協議体等も作って、地域の課題を整理をしていっているというようなプロセスがありますので。そういう意味での地域包括支援センターを、もしよろしければ、ご相談に来ていただければ、いろいろとご家庭の事情に応じて、適切な制度につなげるということは、最大限やらせていただきたいと思ひます。</p> <p>ChatGPTは、確かにいろいろ変化が起きてきますけれども、そういう時代であってもどう生き抜いていけるかという力をつくばの教育ではつけていきたいと思ひていて、ちょうど来週は教育現場でチャットGPTをどう使うかという公開授業みたいなのを用意したりもしていますので、いろいろ世界中が模索しているところですけども、取り組んでいきたいと思ひます。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
12	<p>洞峰公園の無償譲渡、このことについてちょっと簡単にお話させてください。市の維持管理が、毎年無償譲渡した場合は2億3,000万かかるというような話を聞いてます。第1点これは本当ですか。</p> <p>2点目。無償譲渡をした場合は、主要施設、例えばアリーナとかプール等とか管理棟、これを市が建て替えることがあるんですか。建て替えた場合は、多分あの当時は竹下昇が建設大臣だと思います。なので、40億ぐらいかかっちゃうんじゃないかなと思うんですよね。これも市の税金で。賄うしかないと思うんですけども、その辺を2点目お願いします。</p> <p>3点目、このようなこと、例えば、市の維持管理が無償譲渡した場合は、2億3,000万円かかるなんてことは、私もこの地域にずっと生まれて育ったものですが、ほとんど知らないんですよ市長、申し訳ない。なので、市民アンケートとか、市民説明会をぜひ地区別にやっていただければ、私たちとしても大変ありがたく思っております。</p> <p>最後。洞峰公園が市の無償譲渡した場合は、これは決定事項ですか、それとも懸案事項ですかということが最後。反対意見が出た場合は、市への無償譲渡は白紙撤回することができるんでしょうかということなんです。</p>	<p>維持管理費はそういう数字が出ていますが、それも精査をしているところです。建物については、基本的には、大規模修繕がどの程度必要かというのを、企業の皆さんに確認をして、県と一緒に数値を取っていますので、基本的には今、見えてる大規模修繕については、これはもう県でやっていただきたいと思っていますので、そういう中で譲渡を検討している状況です。</p> <p>建物を建てかえる必要性というはおそらく今のところないと思われまので、その状況については、ちゃんと今の議会の最終日にはおそらく維持管理費がどれぐらいかかるかとか大規模修繕どれぐらい必要そうかとか、そういうのが出ますので、それをもとに議員の皆さんにご説明をして、地域にも、なかなか全地区というのはあれかもしれませんけれども、1ヶ所だけじゃなくて、現地だけじゃなくて他の場所でも、1ヶ所2ヶ所ぐらいはできればいいなと思っていて、そこで皆さんにお話をいただきたい。最終的には、あらゆることが賛否あるものですから。例えばさっき(冒頭プレゼンテーション)の運動公園も305億円の計画でして、維持管理費当時3億とか、或いは5億と言われてましたけれども、あの計画をもしやるのであれば私は多分もったかかると思ってます。でも、そういうことも含めて、あらゆる公園には維持管理費がかかりますので、市全体の維持管理費がどれぐらいかかっていて、洞峰公園に限らず、他の公園もいろいろ修繕をしていかなくちゃいけませんから、先ほどもお答えしたように、必要な修繕をしっかりとやっていながらやっていくと。最終的には議会に条例に洞峰公園を追加するかどうかというのは議会に諮ることでありますので、議員の皆さんが賛成をしていただければ無償譲渡になりますし、議会の皆さんが反対多数だったら、譲渡は受けられないということになります。今聞いている限り、皆さんやっぱり環境を今の形で守っていくことは非常に重要だろうということは、多くの議員さん方からお話は伺っていますが、もちろん反対だっておっしゃってる方もいらっしゃると思いますので、そういうご心配の声なんかはしっかりと聞きながら、どういう数値が出るかというのをまず丁寧に説明していきたいと思っております。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
13	<p>①道路に関しては、五十嵐さんが就任されてから6年経ってますけど、多分まったく進んでないんですね。担当職員と我々でずっと議論してきましたけれども、担当職員が責任ある議論をしていると思えないですね。だからここでやはり五十嵐さん1人で非常に頑張っておられることは、尊敬するところです。ただ、五十嵐さんやっぱり万能じゃないです。やっぱり五十嵐さん一人の説明よりは、2000人いる職員が市民と責任を持った議論する、或いは市民と情報共有をして、対等な議論をするということが基本になっていけば、もう少しこういった問題を解決するんじゃないか。先ほど温暖化に関して、専門家の方から危機意識を持ったお話がありましたけれども、ここで議論しても解決しないので、やはり専門家の方が担当部署に行ってそこでしっかり情報収集して、回答だけでもすると。そういうことが一番大事なんじゃないかなと。それがどうもやっぱり私はきちんできていないと、それが一番問題じゃないかと。それができていけば、ここに皆さん来る必要ないんですよ。五十嵐さんも休みなのに、やっぱり家族と過ごして。我々は今一番やって欲しいところは、やっぱり市役所の職員一人一人がですね、市民と責任ある議論をする体制を作る。それがやっぱり五十嵐さんがみんな頑張ってしまうと、逆に五十嵐さんを通さないと何もできないということになると、非常に危険だと思うんですね。ですからそのようなこともありますので、ぜひ責任を持った議論を市民とできるようにしてほしい。</p> <p>②市の職員が、市民との議論ができないところは、私はその市の職員の間でお互いに重要情報を共有して、次に持ってきながら、やりにくい状況にあって、それはなぜかという、ものすごい縦割りの身分制になって、これは多分合併の後遺症だともうなんですけど、それ五十嵐さんになってからさらに、課長補佐とかあれをやっぱり直されること、あと先ほど参加者の方からも質問ありましたけれども、妻木金田のロードマップ、もう6年間何もしてないわけですから、あと2年で進むことを期待してます。</p>	<p>①すごく大事なことだと思っていますし、私も職員ができるだけ主体的に動けるような形で今職員との対話なんかもしながら、確実に提案をしてくれる職員の数というのはすごく増えてます。私就任した当初は、何か震えながら市長室入ってくるみたいな感じだったんですけど、全然今、もっと自由に話していいんだなというふうな空気ができつつあると思っていますし、先ほどのようなこと(パンフレットの作成)も私が全部やってるわけじゃなくて、最近も職員がこういうことをやってみようと思いませんか、副市長とかが相談をしながら、こういう案内を作ってみたらいいんじゃないかとか、そういうことを、これ別に私が言ったわけじゃなくて、みんなで進めてくれることですので、地域の人からしたら、進捗にご不満があることはもう重々承知の上で、一生懸命やっています。確かにもっと職員が気楽にいろんな話ができる環境になっていけばいいと思いますが、なかなか行政の職員、今まで余りにも厳しいことを言われることが多かったので、かなり慎重に発言をするケースが市民向けには多いなというのも、私からすればもっと言ったらいいじゃんと思うことや、やっぱりブレーキがかかってしまってるというのも、気持ちとしてはちょっと理解はするところですが、そこがもう少しフラットな関係に市民と職員がなっていけばいいなと思います。</p> <p>②ありがとうございます。何もしてないということはないということはお伝えはさせていただきますけども、はい、ありがとうございます。頑張ります。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
14	<p>最終処分場のことでお尋ねいたします。皆さんつくば市は処分場を持たないってことはご存知なのかと思いますけれども、そのために残渣の埋め立てを他の自治体にお願いしています。埋立量は7,500トン、仮に10トン積みダンプカーだとしますと、750台分に匹敵します。埋め立て場は、山形県米沢市、秋田県小坂町、福島県小野町、青森県、三戸町と、非常に遠い。一番近い小野町までも183キロ。それから、最も遠い秋田県古崎町までは581キロあります。で、このような状況というのは、到底持続可能ではないと思います。ではどうするかということを、現状下で一番即効性のあるのは、何と言っても、ごみ袋の有料化です。土浦市は指定袋価格を50円としてずっと続けてきましたが、減量の効果があるとして、2021年10月より30円に値下げしました。ちなみに、つくば市には指定袋がありませんので、価格はまちまちで最安16円です。で、この問題は行政だけではなくて、市民も応分の努力をしなければならないのは当然のことだと思います。山形県米沢市は1990年からごみ袋の有料化に取り組んでいます。埋め立てを受け入れている米沢市の市民が、減量化のために有料化に取り組んでいるのに、残渣を出すつくば市民が、有料化による努力を怠っているのは、道義にありません。</p> <p>2番目に、環境省は令和元年度のデータをもとに、あと20年で日本全国のごみ埋め立て場、最終処分場が満杯になり、ごみを埋め立てできなくなると警告しております。ごみ処理問題は、循環型社会の最重要課題です。短期的な議論は、いろんなことを、20年先を見据えたごみ処理計画を、有識者の知恵を借りて立てる必要があると思います。</p> <p>で、お尋ねしたいのは、現在のごみ処理の状況は問題があるか否か。問題があるとすればどのような手段で解決するか、また、どのような場で議論して基本計画を作るか、お尋ねいたしたいと思います。</p>	<p>非常に問題があると思っています。基本的には自治体で発生したごみはその自治体で処分するというのが原則ですので、今までつくば市は隣町の処分場をお願いしてたんですが、本当はあと3年使えると聞いてたところ、突然、もう今年で終わりですって言われて驚いてですね、まさに今の山形の米沢とか、副市長とかにも行ってもらって、交渉をして、使わせていただくことになったんですが、実はそこでごみ袋有料化の話も出ました。そこで、今何をしてるかという、やはり大原則は自分たちの出した物を自分たちで処理するということですので、最終処分場も実は議会でもその検討する委員会が立ち上がりました。行政でも様々な可能性を今検討をしていて、その方向性を立てているところです。ですので、最終処分場って作るのに大体20年ぐらいかかってしまいますので、それこそそういう、とにかく議論を、結局迷惑施設なので、うまくまとまらないのでみんなこの話題をつくばでは避けてきたわけですけども、避けていたらどうにもならないですから、大変でもこの議論を進めていくということを市としてやって、今検討中でございます。</p> <p>ただ、じゃあ最終処分場作ったらいいのかっていうと、やっぱり今お話あったように、そうやって出していけば、そこもいつかいっぱいになるわけですから、量を減らすということが必要だと思います。その量の減らし方は、さっきいろんな事例を出しましたけども、そういうこともそうですし、その中で、おそらく私は気候市民会議でも、ごみ袋有料化についての意見がいろいろ出ると思います。で、その効果とかをいろいろ議論をしてもらうことになると思っています。</p> <p>どうなるかというのは、やっぱりそこはちゃんと見極めたいなと思っています。処分場についてはそういう考えで、今しっかり検討をしていると。あんまり自分が出したごみをよそで処分するというのは、私はよろしくないというふうに考えています。</p>

タウンミーティング(2023.6.17開催 場所:桜総合体育館 会議室) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
15	<p>メッセンジャーRNAワクチンに関する事なんですけれども、現在経産省の予算を使いまして、福島の南相馬市でメッセンジャーRNA型のタイプのワクチンの工場が作られてまして、今年の夏本格稼働ということ聞いてます。それで、そのほか全国でどこがあと作ろうとしているのだろうと思ったらまさかのつくば市が入ってまして、これは本当なのかということ、もし計画しているとしたらどこか。ただ、メッセンジャーRNA型のワクチンに関しましては、コロナワクチンの現状を見ましても、ワクチンの接種の後に亡くなった方もとても多いです、あと後遺症で苦しんでいる方も多くて、大阪市のある市長さんは、ワンストップでコロナワクチン後遺症の窓口を設けているところもあるし、或いは、海外ではもう訴訟がどんどん起こされて、もうワクチン全然打ってないんですね。5回6回も打ってるのは日本ぐらいで、それで新規感染者を出してるのも日本だけという状況なんですね。そういう、あと国内でも、この間先週だったかな、やはり厚労省を相手に訴訟を起こしたご家族がいます、そういう状況で、そういった危険なワクチンの工場を本当に作ると考えているのか、市長の考えを聞かせていただきたいと思います。</p>	<p>市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)</p> <p>市として正式に何かを作るとか、そういう話は何もありません。ただ企業のような活動の中でのことですので、常にそういう話は浮かんで消えということがあると思いますので、少なくともこういうことをやりますと、何か決まってるものは、まだ私としては把握をしていないということですね。もちろんこれからどういう話があるか、それはいろんな企業がいろんな形でつくばへの進出をしたいと言ってくださってる方たくさんいますので、それはワクチン関係でなくても、バイオ系も色々あれば、それ以外の分野もありますので、そういう中で決まってくる可能性ってのはもちろんゼロとは全く申し上げませんが、私自身は、ワクチンはもちろん一定程度有効だったというふうに思っておりますけれども、ご不安の声があるということもよく把握しています。そこで、ワクチンの相談窓口というのは、市としてもできるだけわかりやすく作って、ご相談をさせていただいてるという状況はあります。例えば後遺症に悩んでる方がいたら、ちゃんと委員会を作って、どういうふうにしていくかなんていう体制はとっておりますし、実際に相談にもうすでに来られてる方なんかもいらっしゃいますので、そういう皆さんにはとにかく丁寧寄り添って対応していきたいというふうに思っております。</p>